

第3サークル

- ・必要最低スキル：8.6
- ・消費マナ：9

■ Bless

- ・必要秘薬：Garlic、Mandrake Root

STR・DEX・INT を上げる。上昇量と効果時間は術者の「評価」に依存し、Strength・Agility・Cunningと同量。重ねがけした場合は、効果時間がリセットされるのも変わらない。ペットやモンスターは戦闘時に、この呪文を多用する傾向がある。

魔法を使うモンスターに "名誉" の "徳" を使った戦いを挑もうとした時、この呪文を使われてHP 上限だけが上がり (STR が上がるため)、「傷ついている」と判定されて "名誉" の戦いが始められない、というケースがよくある。

■ Fireball

- ・必要秘薬：Black Pearl

炎属性の魔法弾を撃ち出す攻撃呪文。ダメージは地味だが、必要な秘薬数・詠唱速度・消費マナなどが低めに抑えられるため、瀕死の敵に止めを刺すときなどに使う時などに多用される。攻撃呪文と言う意味では、この辺から使われ始めるはず。

■ Magic Lock

- ・必要秘薬：Blood Moss、Garlic、Sulfurous Ash

コンテナに魔法の鍵をかける。鍵が掛かった状態だと物の出し入れは出来なくなる。なお、対象となるコンテナは「Chest」と名がつくような大きな箱でなければならない。フェルツカで泥棒対策に使われる (シーフといえども中にアクセスは出来なくなるため)。

■ Poison

- ・必要秘薬：Nightshade

毒状態にする。術者の「魔法」と「毒」に応じて、与える毒のランクが決まる。「毒」を上げていない場合、どんなに頑張っても最低ランクの毒しか与えられない。また、対象が術者の距離が2マスより離れている場合も、最低ランクの毒しか与えられない (つまり最大限の効果を与えるためには対象に隣接する必要がある)。対象の「耐性」によりレジストの可能性があり、レジストされたら毒は与えられない。

毒を与えるフィールド系呪文 Poison Field は、フィールドに触れた相手に術者との距離に関係な

く「毒」に応じた毒を与えることが可能で、対人戦でも使われるケースがある。

■ Telekinesis

- ・必要秘薬：Blood Moss、Mandrake Root

離れたところにあるものにアクセスする。離れたところにある扉を開いたり、食べ物を食べたり出来る（扱的には、呪文使用時にターゲットしたものをダブルクリックするのと同様になる）。ハードコアシャードでなければ、離れたところから罠の掛かった箱にこれをかけることで、罠をわざと発動させて以後安全に開けられるように出来る。

■ Teleport

- ・必要秘薬：Blood Moss、Mandrake Root

視線の通る先に移動する。段差のある地形を移動するときや、モンスターに囲まれた時の退避にも使える。また、魔法を使うモンスターは、この呪文でこちらに肉薄する（逆に味方のペットがこれで柵越えすることもある）ことが多いので、視線が通る位置にいるときは用心したほうが良い。自分が魔法を掛けられる位置＝相手との視線が通っている位置ということを忘れずに。

■ Unlock

- ・必要秘薬：Blood Moss、Sulforous Ash

コンテナや扉・箱に掛けられた鍵を外す。Magic Lockによる鍵だけでなく、通常の鍵を外すのにも使えるが、成功率は術者のスキル値と鍵の難易度に応じる。「魔法」スキルが50以上でレベル1、GM以上でレベル2、伝説(120)ならレベル3のトレハン宝箱の鍵が外せる。それ以上の難易度の鍵を外すのは無理で、「開錠」が必要になる。

■ Wall of Stone

- ・必要秘薬：Blood Moss、Garlic

石の壁を作り出す。単純に足止めをするという目的だけでなく、視線を切るためにも使用できる（その場合は壁に接触している必要がある）。この呪文はフィールド系呪文に分類され、街中（ガード圏内）では使用できない。
